

CSVファイルをまとめてダウンロードする方法

μ TURTLE-RW内にあるCSVファイルをまとめてダウンロードする方法として、インターネット上にあるフリーソフトを使う例を示します。
その例としてFree Download Managerを使う場合のインストールと実際の運用例を以下に示します。

1. インストール

1-1.まず、インターネットからFree Down Manager(以降 FDM)をダウンロードして下さい。

1-2.ダウンロードしたインストールソフトを実行すると図1が表示されるので、実行をクリックして下さい。
インストールが開始されます。

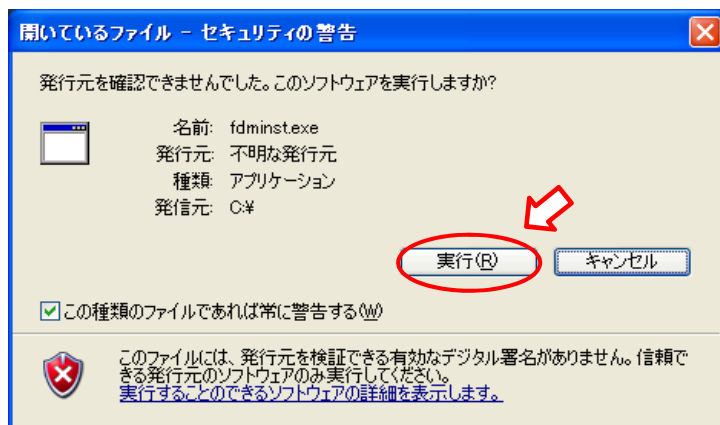
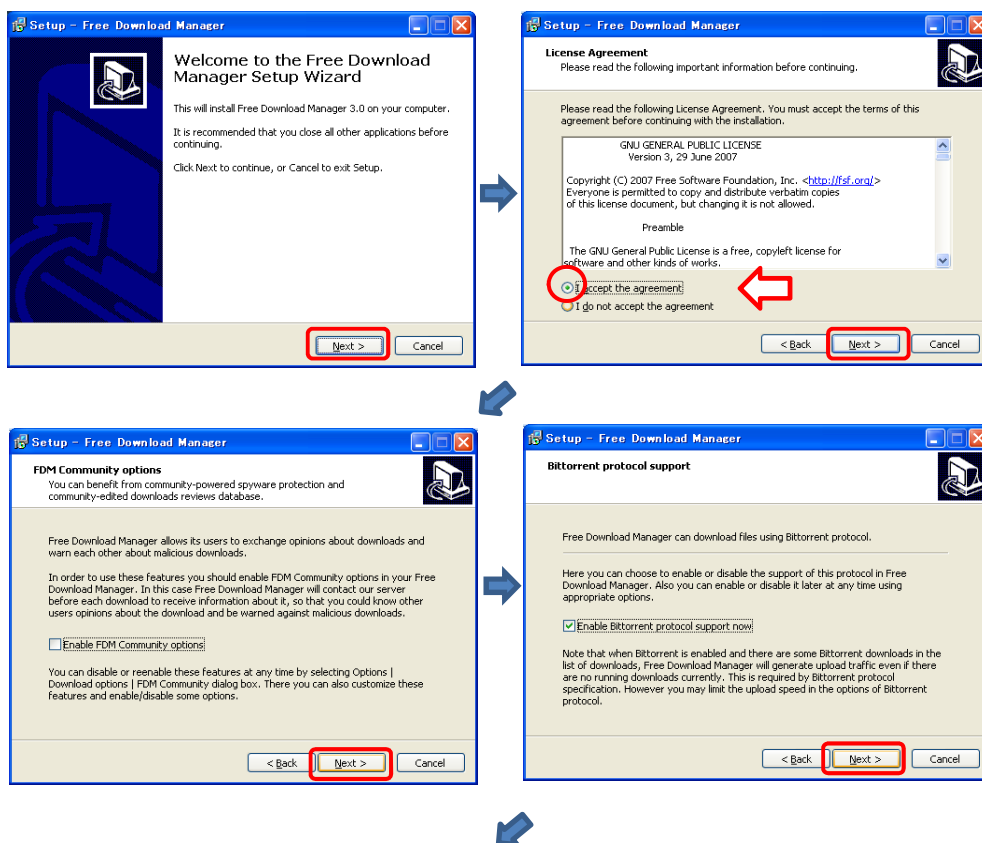
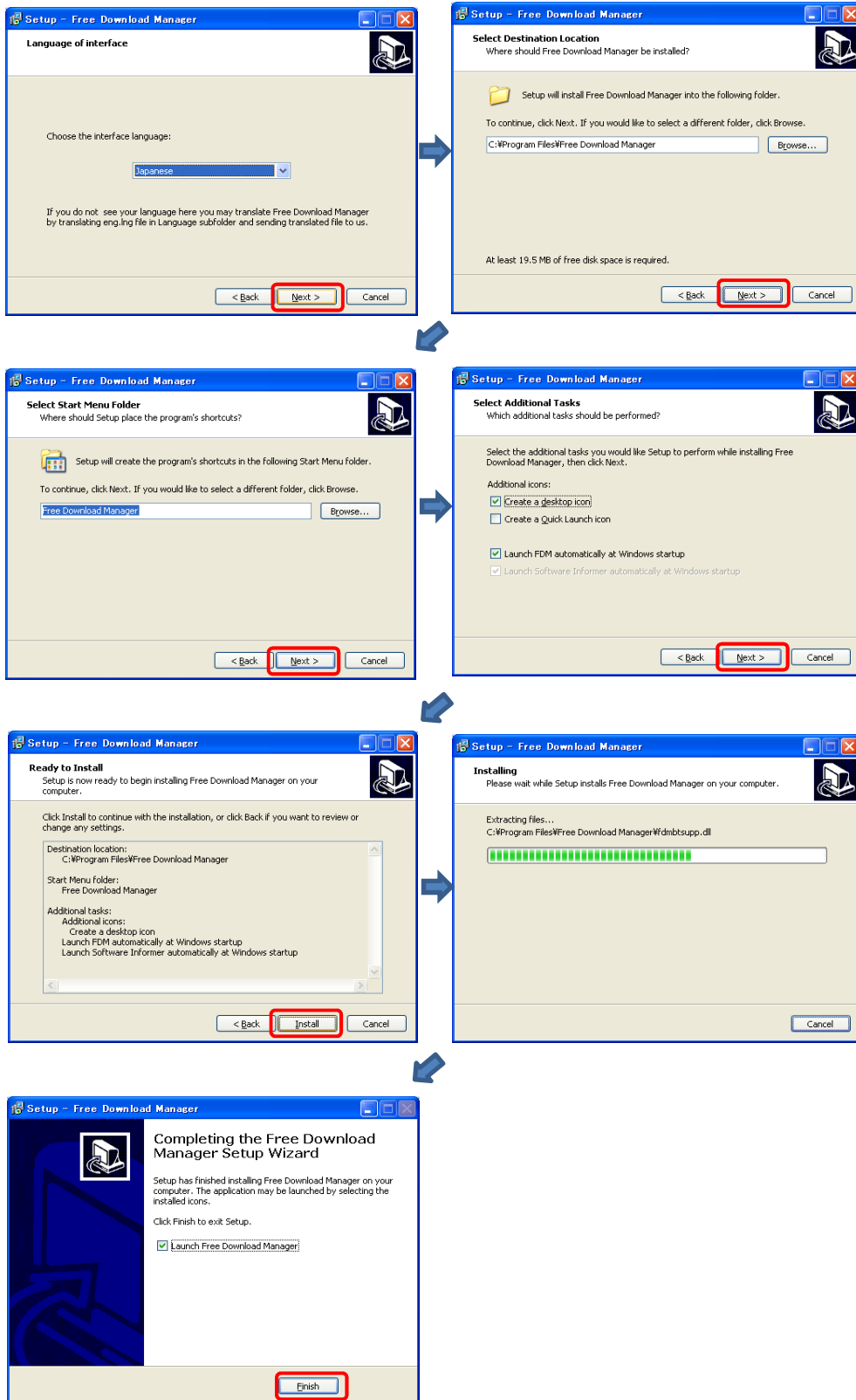


図1

1-3.下の表示はインストール中に表示されるもので、インストール先など変更なければ全てそのまま
Next をクリックして先に進んで下さい。





- 1-4. インストールが完了し、「Finish」をクリックすると、図3が表示されます。
 社内LANを使用されるのであれば10/100M LANのまま完了をクリックして下さい※1。PHSなど速度の遅い回線を使用される場合は、112K Dual ISDN を指定して下さい。
 以上でインストールが完了しましたので、続けてFDMの初期設定を行って下さい。
 ※1ネットワーク使用最適ウィザードは、設定→最適化ウィザードで再設定できます。

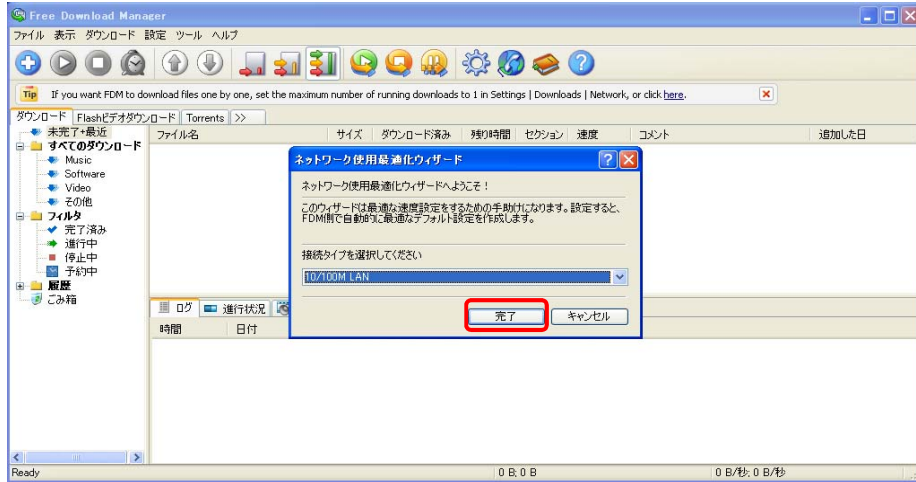


図3

- 1-5. インストール後、図4のショートカットがデスクトップに作成されているので、このアイコンをWクリックしてFDMのメイン画面を表示して下さい(図5)。



図4

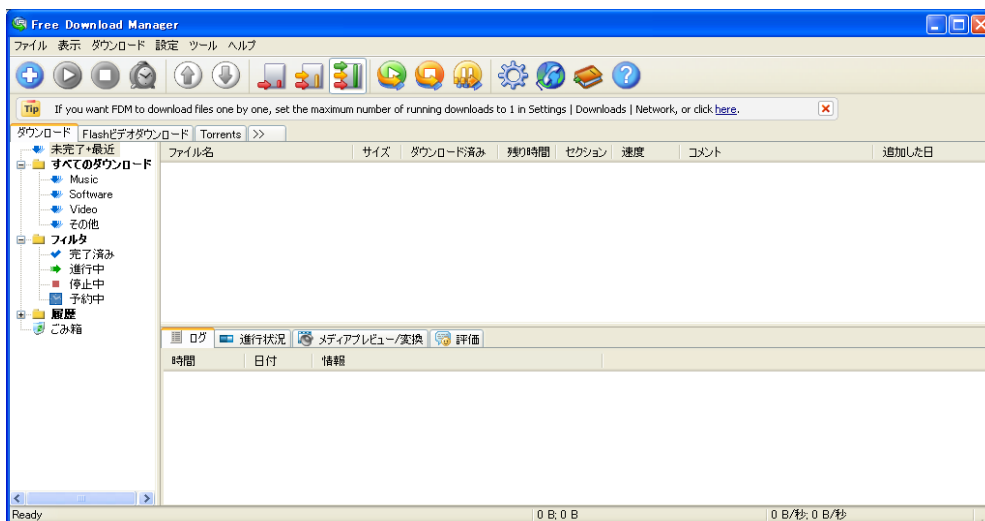


図5

- 1-6. 図5のツールバーの「設定」をクリックし、表示されるメニューの中から「設定」をクリックして下さい。
 図6が表示されるので、左欄の「新規ダウンロード」をクリックして表示される図7で
 「拡張」をクリックして下さい。図8が表示されるので、MicroSoft Internet Explorer 5.0 を選択して下さい。
 OKをクリックして、図5のメイン表示に戻して下さい。

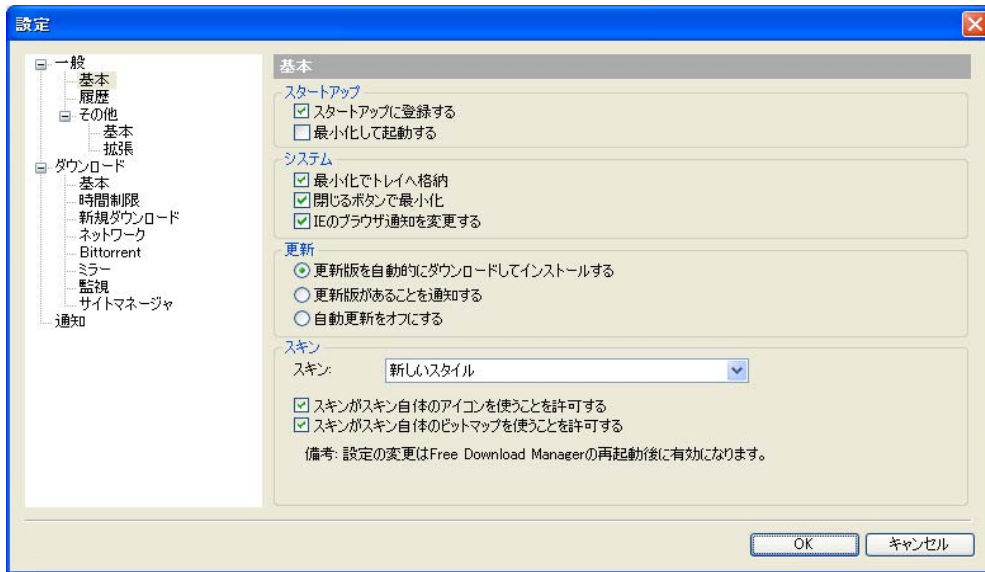


図6

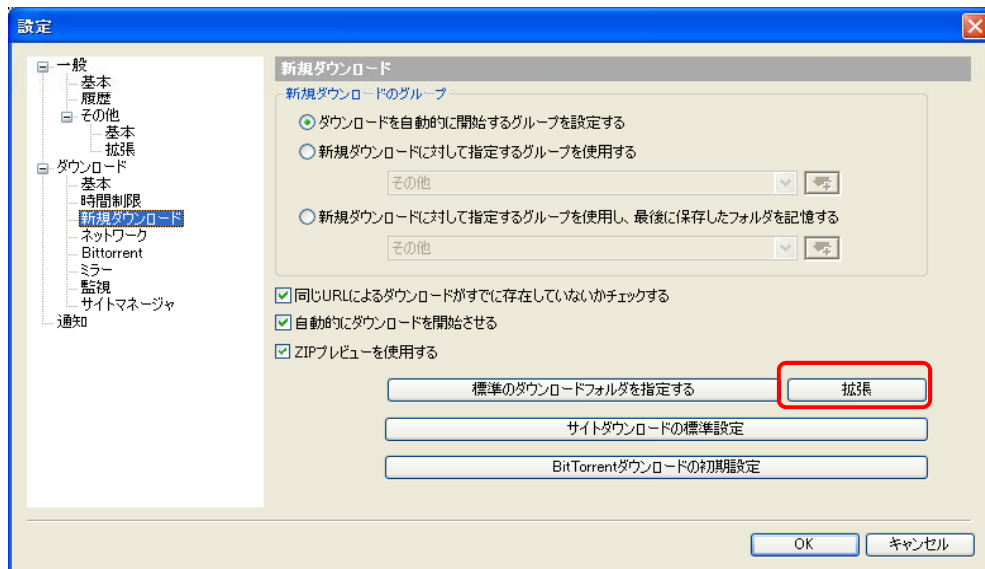


図7

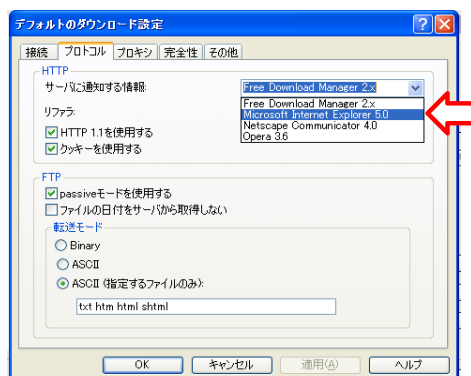


図8

1-6.メイン画面の左欄にある「すべてのダウンロード」を右クリックして表示される「グループのルートフォルダ設定」をクリックして下さい。図10が表示されるので、ダウンロードするCSVファイルの保存先を指定して下さい。

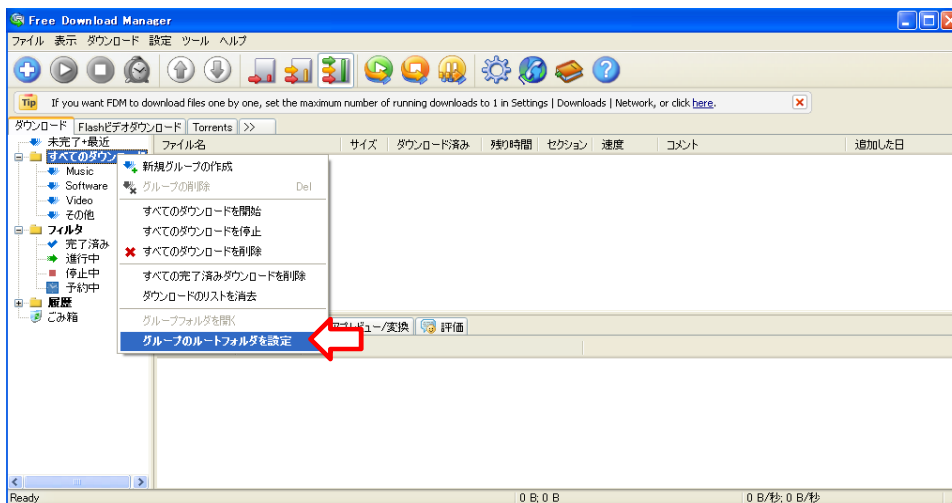


図9

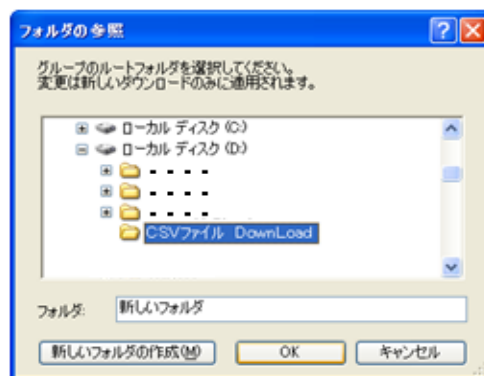



図10

1-7.メイン表示のツールバーにある「設定」をクリックして図11を表示し、赤○を付けたラジオボタンを選択し、右側の  をクリックして下さい。
 図12が表示されるので、「グループ名」に保存先フォルダ名を設定して下さい。1-6で設定した保存先のフォルダの下に新たにグループ名で指定した名称のフォルダが作成されます。
 同じく図12で「ファイルで保存先を振り分け」に半角で CSV を設定して下さい。ダウンロードする対象ファイルの種別(CSVファイル)を指定します。

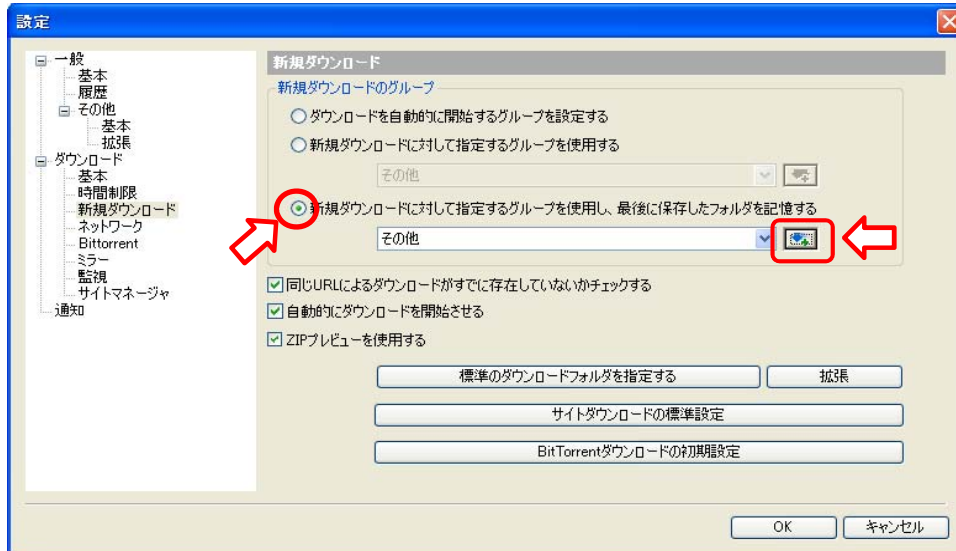
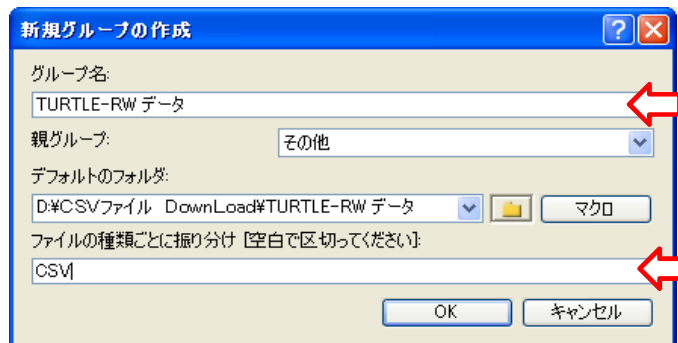


図 11



(注)
 グループ名で設定したフォルダが1-6項で設定したフォルダの下に作成されます。

図 12

以上で初期設定が完了しました。

しかし、実際の運用に対してはもう1つ作業があります。ダウンロードをFDMで行うには μ TURTLE-RWのCSVファイルの保管場所をURLで指定する必要があります。このURLをダウンロード毎に手入力するのは大変な作業になり間違いも生じるので、URLをどこかにメモしておくとう便利で間違いも生じません。2項ではそのメモ方法を説明します。

2. URLのメモ方法

2-1. μ TURTLE-RWにブラウザでアクセスし、「出力データ」をクリックしてCSVファイルの一覧(図13)を表示して下さい。

いずれか1つのCSVファイルを右クリックし、「Free Download Managerでダウンロード」をクリックすると図14が表示されます。

図14で表示されたURLがCSVファイルの所在を示しています。

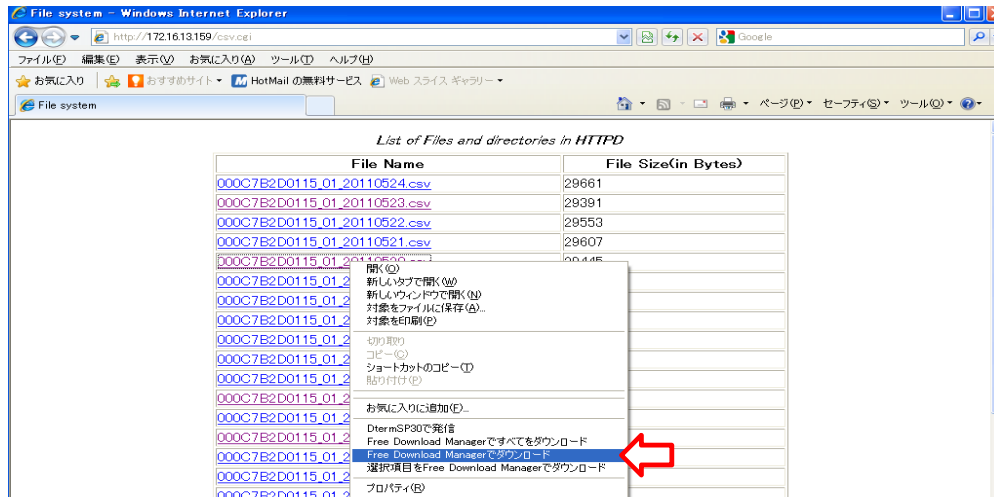


図13

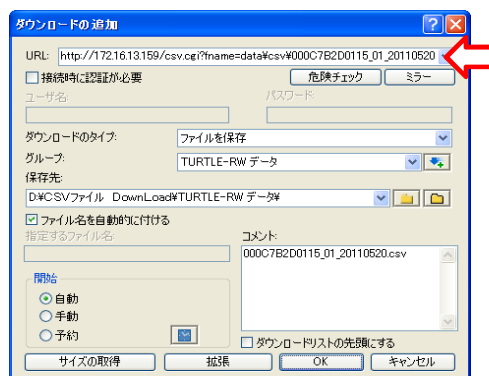


図14

2-2. 図14のURL (http:// ~ .CSV)を Ctrl C(キーボードのCtrlを押しながら キーボードの Cを押す)でパソコンに取り込みます。

このURLをメモするファイル(メモ帳でもEXCELなど)に Ctrl Vで貼り付けます。

貼りつけた直後は、図15の上段のURLになっているので、アンダーラインを付けた日付の部分を図15下段のように半角で(*)に変更します。

この状態でファイル名を付けて保存して下さい。

http://172.16.13.159/csv.cgi?fname=data%csv%000C7B2D0115_01_20110511.csv

[http://172.16.13.159/csv.cgi?fname=data%csv%000C7B2D0115_01_20110511\(*\).csv](http://172.16.13.159/csv.cgi?fname=data%csv%000C7B2D0115_01_20110511(*).csv)

(注)000C7B2D0115は μ TURTLE-RWでCSVファイルにつけるように設定した識別子、その後の01はグループ番号です。

図15

以上で事前準備が完了しました。

3. CSVファイルのダウンロード

3-1.メイン表示のツールバーにある「ダウンロード」をクリックし、「新規バッチダウンロード」をクリックして下さい。図14が表示されます。

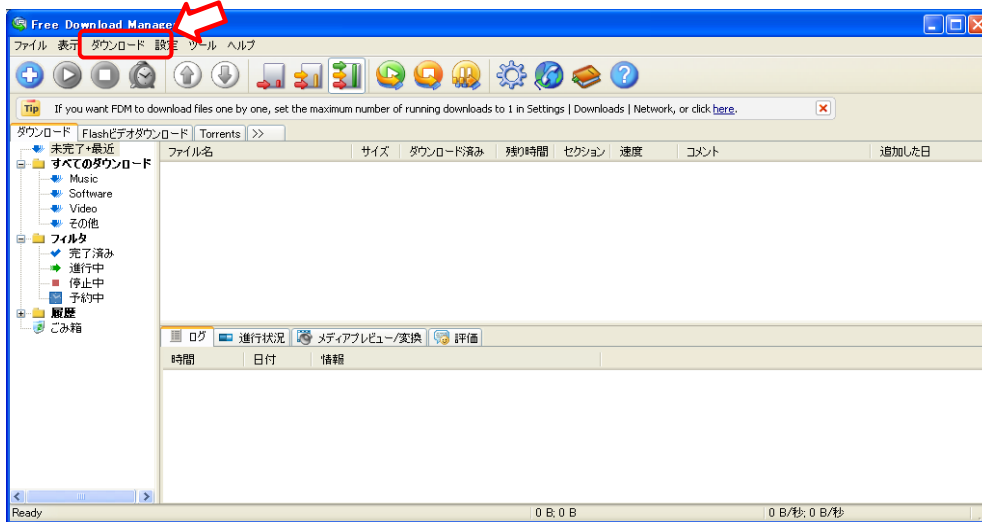


図13

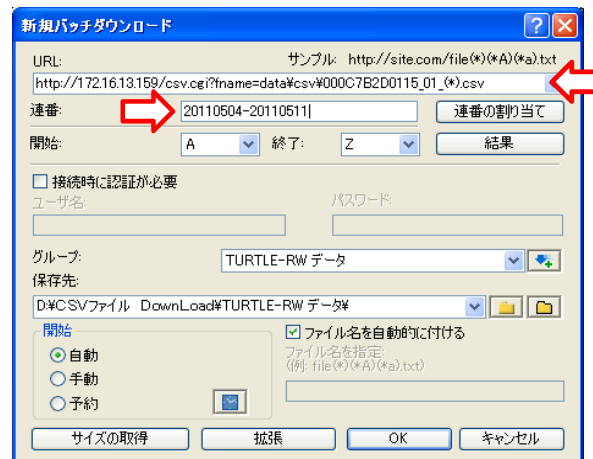


図14

3-2. 図14のURL欄に2-2で保存したURLを入力して下さい。

3-1項を実施する前に、URLを Ctrl Cでパソコンにコピーしておけば、3-1項を実行した時点で入力した状態で表示されます。

3-3. ダウンロードするCSVファイルの範囲(何日から何日までのファイルをダウンロードするか)を「連番」のところに入力します。

例えば2011年5月4日から2011年5月11日までの8日分を指定する場合、半角で20110504-20110511 と入力します。

最後にOKをクリックするとダウンロードが始まり、指定されたフォルダにファイルが収納されます。

図15はFDMのダウンロード過程、図16は指定したフォルダにCSVファイルが保存された結果です。

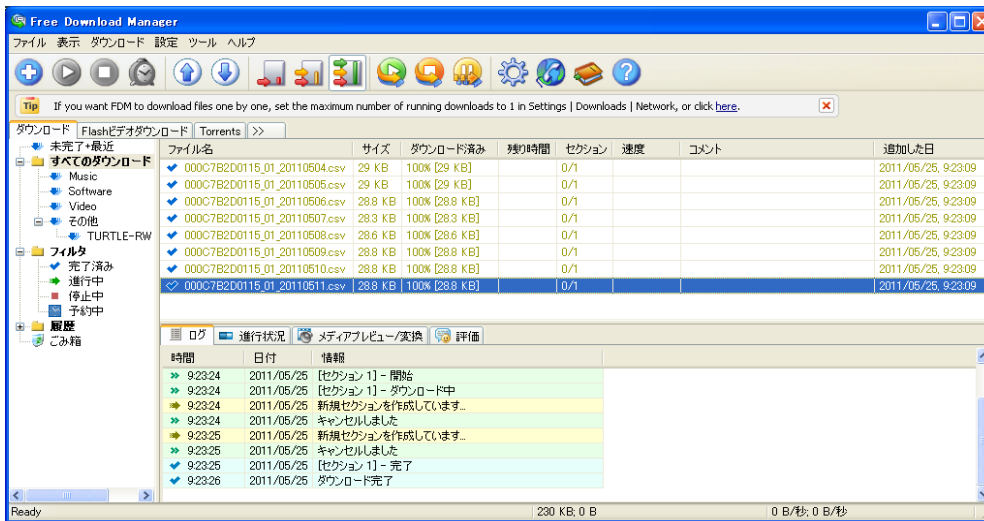


図 15

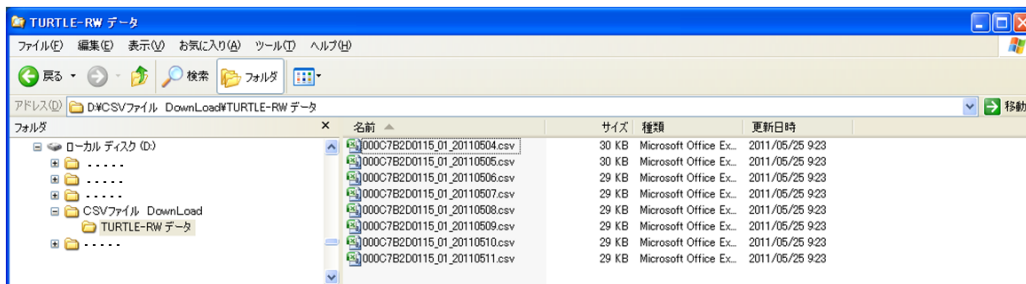


図 16

4. 注記

4-1.FDMをインストールすると、通常のインターネットからのダウンロードやメール添付ファイルをダウンロードする時でもFDMが動作するので、CSVファイルのダウンロードが完了したら、FDMを終了しておいて下さい※1。仮に終了を忘れてもFDMの表示画面で「キャンセル」をクリックすると通常のファイル保存設定に戻ります。

※1 メイン表示のツールバーにある「ツール」で「ダウンロード終了後にFDMを終了する」にチェックを入れて下さい。

4-2.FDMが立ち上がっていると通常最小化されて図17のようなアイコンになっています。このアイコンを右クリックすれば、元の表示にも終了も操作できます。

